

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山下 智史
	全体計画						経費区分		-		内線	3615
事務事業名	4263 小学校教育振興事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100202 教育費・小学校費・教育振興費										
	事業	010000 小学校教育振興事業										
事業目的						事業概要・効果						
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備を図る。						教科書や学習指導に合った教材を使用することで、わかりやすく、より深い学習を行うことができるため、教材備品の整備をする。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
平成29年度 実績	平成30年度 実績
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		42,802	23,203
特定財源	国庫支出金	759	640
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	26,700	9,500
一般財源		15,343	13,063
人員数(人)	正規職員	0.3	0.2
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,179.5	1,453.0
	嘱託職員	282.9	282.9
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,462.4	1,735.9
市民一人当たりの経費		0.9	0.5
総額		45,264.4	24,938.9

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	395	謝礼
11節 需用費	30,753	消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	11,654	手数料、備品購入費、教材備品購入費、図書購入費

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	439	謝礼
10節 需用費	11,000	消耗品費 (2020年度～教師用教科用図書等費用含む)
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	11,764	手数料、備品購入費、教材備品購入費、図書購入費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	各種教材備品の整備を行い、教育効果を高めるために必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	教育効果を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	教育効果・効率性を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

教育効果を高めるため、各種教材備品の整備を行った。
 図書館教育の充実のため、蔵書の整備を行った。
 標準学力テストを実施し(小学1年生を除く)、基礎・基本学力の定着の確認と今後の指導に活かした。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

教育効果を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

今後重点化される教育分野の一つであるプログラミング教育が始まった。教育機材の整備を進める必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--